

1. 長野県 2. 岐阜県 3. 福島県 4. 福井県

1. 風力発電 2. バイオマス発電 3. 水力発電 4. 地熱発電

1. 人口の割合が面積の割合を大きく上回っており、都市部での過密化が最大の課題となっている。
2. 面積の割合と人口の割合がほぼ一致しており、全国平均に近い人口密度である。
3. 広大な平野部に人口が集中しているため、全国でも有数の高い人口密度を示している。
4. 面積の割合に比べて人口の割合が小さいため、全国的に見て人口密度が低い。

1. 国道4号は栃木県と新潟県の間を通過するルートとなっており、福島県内を通ることはない。
2. 東北地方の北端に位置するため、国道4号の終点として北海道へのフェリー航路と直結している。
3. 県内を国道4号が通過しているが、この国道は日本海沿いに整備されているため秋田県や山形県へのアクセスに優れている。
4. 日本で最も長い国道4号が県内を南北に貫いており、関東地方と東北地方を結ぶ物流の大動脈となっている。

1. 平拓によって得られた広大な土地をすべて果樹園とし、世界的な輸出拠点として整備されたため。
2. 季節風の影響を抑えるために、平野部をすべてビニールハウスで覆い野菜中心の栽培に転換したため。
3. 人口が密集する大都市圏に隣接しているため、鮮度が重要な果物の近郊農業に特化したため。
4. 涼涼な気候に適した作物を選択し、米の生産に偏りすぎない多角的な農業経営を推進してきたため。

1. サクランボやブドウなどの果実栽培に特化しており、県外への出荷額において果実が最大の割合を占める。	2. 広大な土地を活用した肉用牛や乳用牛などの飼育が盛んで、畜産の産出額が米や果実を上回っている。	3. 庄内平野などの平野部を中心とした大規模な稲作が中心であり、米の産出額が県全体の半分以上を占めている。	4. リンゴの生産量が全国第1位であり、果実の産出額が畜産や米の産出額を圧倒している。
---	---	---	---

1. 千島海流（親潮） 2. リマン海流 3. 日本海流（黒潮） 4. 対馬海流

1. 青森県 2. 福島県 3. 岩手県 4. 宮城県

1. 黒潮（日本海流）の影響を強く受けるため、夏は非常に高温多湿となり、入り組んだ海岸線を利用した稲作が盛んに行われている。
2. 冬に北西から吹く季節風が山を越えて乾燥した風となり、太平洋側の入り組んだ海岸線一帯に大規模な乾燥注意報をもたらす。
3. 対馬海流の影響で冬でも温暖な気候が保たれ、平坦な海岸線を利用した野菜の促成栽培が広く行われている。
4. 複雑に入り組んだ海岸線を持つ地域に、夏に冷たい北東の風が吹き込むことで気温が上がらず、寒冷な状況となって冷害が発生することがある。

1. 機械工業 2. 食料品工業 3. 繊維工業 4. パルプ・紙工業

1. 米の産出額が果実の産出額を大きく上回っている。

2. 果実の産出額が米の産出額を上回っている。

3. 人口が少ないため、農業産出額の中で米が占める割合は極めて低い。

4. 漁業生産量のみが極端に多く、農業産出額はほとんどない。

1. 青森県 2. 秋田県 3. 新潟県 4. 山形県

1. 親潮 2. 対馬海流 3. リマン海流 4. 黒潮

1. 黒潮（日本海流）の影響で大気が不安定になり、雪雲が発達しやすいため

2. 太平洋側から吹き込む湿った南東の季節風が奥羽山脈を越えてくるため

3. シベリア高気圧から吹き出す乾いた風がフーン現象を起こして冷え込むため

4. 日本海側から吹き込む湿った季節風の影響を強く受けるため

答え合わせ・解説

問1	答え 3 福島県	東北新幹線は東京から新青森までを結ぶ高速鉄道であり、福島県はその経由地として重要な役割を担っています。福島県は東北地方の玄関口にあたり、県内には郡山駅や福島駅などの主要な停車駅が存在します。これにより、首都圏との時間距離が短縮され、人々の移動や物流が効率化されています。
問2	答え 1 風力発電	東北地方の日本海側や沿岸部は、年間を通じて偏西風や季節風などの強い風が吹きやすいため、風力発電所の建設に適しています。地熱発電は奥羽山脈などの火山がある内陸部、水力発電は水流の落差が得られる山間部に多く立地するため、地図上の分布場所（沿岸部か内陸・山間部か）によって区別することができます。
問3	答え 4 面積の割合に比べて人口の割合が小さいため、全国的に見て人口密度が低い。	東北地方は、日本の総面積の約18%（17.7%）という広大な土地を有していますが、総人口に占める割合は約7%（7.1%）にとどまっています。面積の大きさに比して居住する人口が少ないため、1平方キロメートルあたりの人口を示す人口密度は、全国的に見て低い値となるのが大きな特徴です。
問4	答え 4 日本で最も長い国道4号が県内を南北に貫いており、関東地方と東北地方を結ぶ物流の大動脈となっている。	福島県は東北地方の南端に位置し、古くから関東と東北を結ぶ交通の拠点として発展してきました。日本で最も長い国道である国道4号は、東京都から青森県までを結んでおり、福島県内を南北に通過することで、東北地方全体の経済や生活を支える重要な役割を果たしています。
問5	答え 4 冷涼な気候に適した作物を選択し、米の生産に偏りすぎない多角的な農業経営を推進してきたため。	東北地方は古くから冷害による凶作に悩まされてきた歴史があり、稲作単作からの脱却や、地域の気候に適した高付加価値な作物の導入が進められてきました。特に青森県などでは、冷涼な気候を逆手に取ったリンゴ栽培に注力することで、農業産出額に占める果実の割合が顕著に高くなり、地域の安定した重要産業として確立されました。
問6	答え 2 広大な土地を活用した肉用牛や乳用牛などの飼育が盛んで、畜産の産出額が米や果実を上回っている。	岩手県は、北上高地などの広大な山地・丘陵地を利用した畜産業が発達しています。東北地方の他県では「米」や「果実（青森のリンゴや山形のサクランボ）」が産出額の首位となるケースが多いですが、岩手県は畜産が農業の中心となっており、産出額の構成において畜産が米や果実を大きく引き離しているのが地理的な特徴です。
問7	答え 1 千島海流（親潮）	東北地方の東側に位置する三陸海岸の沖合では、北から流れてくる寒流である千島海流（親潮）と、南から北上してくる暖流の日本海流（黒潮）が合流します。この寒流はプランクトンを豊富に含んでおり、魚を育てる「親」のような役割を果たすことから親潮とも呼ばれます。
問8	答え 4 宮城県	宮城県は東北地方の政治・経済の中心地としての役割を担っています。県庁所在地の仙台市は、東北地方で唯一の政令指定都市であり、多くの企業が集まることで、製造品出荷額や年間商品販売額が他県を大きく上回る突出した値となっています。この統計上の特徴は、宮城県が東北地方における広域中心県であることを示しています。
問9	答え 4 複雑に入り組んだ海岸線を持つ地域に、夏に冷たい北東の風が吹き込むことで気温が上がらず、寒冷な状況となって冷害が発生することがある。	東北地方の太平洋側にあるリアス海岸付近では、夏に吹く北東の風（やませ）が寒冷な気候を招くことが知られています。この風はオホーツク海上の冷たい空気を含んでいるため、長期間吹くと日照不足や低温をもたらし、農作物の生育に悪影響を与えます。選択肢にある黒潮や対馬海流は暖流であり、冷害の説明としては誤りです。
問10	答え 1 機械工業	東北地方では、高速道路網（東北自動車道など）の整備が進んだことにより、IC（インターチェンジ）付近を中心に自動車や電子部品の工場進出が相次ぎました。その結果、従来の地場産業や食料品工業に代わって、輸送用機械や電子機械などの機械工業が製造品出荷額の中で最も大きな割合を占めるようになっていきます。
問11	答え 1 米の産出額が果実の産出額を大きく上回っている。	東北地方で人口が最多である宮城県は、広大な平野部を活用した米作りが盛んな地域です。山形県や福島県のように果実の産出額が比較的高い水準にある県とは対照的に、宮城県の農業産出額の内訳では、果実よりも米が占める割合が圧倒的に高いという構造的な違いがあります。
問12	答え 4 山形県	東北地方の日本海側に位置する山形県は、最上川流域の盆地を中心に果樹栽培が非常に盛んです。統計上、米の産出額が県内農業の大きな割合を占めつつも、果実の産出額が約六百九十億円と他の近隣県に比べて際立って高いのが特徴です。サクランボ（おうとう）や西洋ナシなどの生産量は全国トップクラスであり、「果物王国」とも呼ばれます。
問13	答え 1 親潮	千島列島から流れてくるため「千島海流」とも呼ばれます。栄養分が豊富な「寒流」であり、日本の東側で暖流の黒潮とぶつかることで、世界的な漁場を形成しています。
問14	答え 4 日本海側から吹き込む湿った季節風の影響を強く受けるため	若松は福島県の内陸部に位置する盆地であり、冬には日本海側から湿った冷たい季節風が吹き込みます。この季節風が奥羽山脈などの山地を越える際に雪を降らせるため、日本海側の気候に近い「多雪」という特徴を持ちます。一方、沿岸部の小名浜は、山脈によってこの季節風が遮られるため、冬は乾燥して晴天が多くなり、降雪日数が少なくなります。